

文化芸術立国に向けた文化庁長官アドバイザーメンバーの略歴

いわた りゅうじ
岩田 隆次（65）

東京大学政策ビジョン研究センター客員教授

- ・昭和49年明治学院大学経済学部卒業，三井物産株式会社を経て国内外に会社を設立し，各種コンサルティングを行う傍ら，平成18年慶応義塾大学SFC上席所員・シニアリサーチャー，平成21年東京大学医科学研究所学術経営企画戦略室参与，平成22年立命館大学東京キャンパスシニアアドバイザー，平成25年東京藝術大学特任教授を歴任。
- ・平成26年一般社団法人次世代芸術文化都市研究機構顧問委員会議長。



おおひ ちょうざえもん
十一代 大樋 長左衛門（58）

美術家・陶芸家（大樋年雄）

・昭和33年，十代大樋長左衛門の長男として石川県金沢市で生まれる。昭和59年ボストン大学大学院修士課程修了（M.F.A.）。その後，大樋焼の伝統を継承しながら現代アーティストとしても活動。

・ロチェスター工科大学客員教授，上海工芸美術学院客員教授，台湾・台南芸術大学客員教授，金沢大学客員教授，東京芸術大学非常勤講師、国際陶芸アカデミー（I.A.C）会員，日展会員・諮問委員・審査員，日本現代工芸美術家協会常務理事・審査員等を歴任。

・また，数々の陶壁制作，建築空間プロデュース，新しい金沢駅構内の陶壁監修，観光バスの内外装デザイン，平成16年にはアイウェアデザインでグッドデザイン賞を受賞し，デザイナーとしても活躍している。

・平成25年，第7回京畿道世界陶磁ビエンナーレ招待作家（韓国利川陶芸美術館），平成27年，工芸未来派展招待作家（ニューヨーク アート&デザインミュージアム）。作品は，ロックフェラー家，デトロイト美術館（米国・ミシガン州），カウンティー美術館（米国・ロサンゼルス），セーブル美術館（フランス），景德鎮陶瓷館（中国），金沢21世紀美術館など世界各国に所蔵されている。

・平成25年日本現代工芸美術展にて内閣総理大臣賞受賞。平成28年1月十一代大樋長左衛門を襲名。



おやま くみ
小山 久美

公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団常務理事

・慶応義塾大学文学部哲学科卒業。昭和 54 年，スターダンサーズ・バレエ団入団。昭和 59 年，North Carolina School of the Arts に留学。その後，文化庁在外研修員としてアメリカにてメリッサ・ヘイドンに師事。翌年より，フロリダのタンパ・バレエ団に参加し，ソリストなどで活躍。

・帰国後は，ピーター・ライト版「ジゼル」「くるみ割り人形」を始め，アントニー・チュエダー「リラの園」「火の柱」，ジョージ・バランシン「セレナーデ」「ウェスタン・シンフォニー」，ケネス・マクミラン「ラス・エルマナス」など数多くの作品に主演。平成 4 年，村松賞。

・平成 15 年，スターダンサーズ・バレエ団総監督に就任。平成 20 年より昭和音楽大学短期大学部教授，平成 21 年より昭和音楽大学バレエ研究所所長。



きたごう さとる
北郷 悟 (63)

東京藝術大学学長特別補佐・教授

・昭和 28 年福島県生まれ。昭和 52 年東京造形大学彫刻科卒業。昭和 54 年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

・昭和 61 年東京藝術大学美術学部彫刻科非常勤講師。平成 4 年新潟大学教育学部助教授。平成 8 年から平成 9 年まで文化庁芸術家在外研究員として，イタリアアブレラアカデミア美術学校へ留学。

・平成 9 年東京藝術大学美術学部彫刻科助教授を経て平成 18 年より教授。平成 21 年 4 月から平成 28 年 3 月まで東京藝術大学副学長・理事。平成 28 年 4 月より上野文化の柱担当の学長特別補佐。新制作協会会員。

・昭和 54 年，昭和 55 年，昭和 57 年に新制作展新作家賞。平成 2 年グッドデザイン賞。平成 6 年文化庁作品買上げ。平成 18 年倉吉緑の彫刻賞，平成 26 年長野市野外彫刻賞（長野市）など多数受賞。



ロバート キャンベル（58）

日本文学研究者， 東京大学大学院教授

・昭和 32 年ニューヨーク市生まれ。昭和 60 年に九州大学文学部研究生として来日。同学部専任講師，国立・国文学研究資料館助教授を経て，平成 12 年に東京大学大学院総合文化研究科助教授に就任。平成 19 年から現職。

・近世・近代日本文学が専門で，特に 19 世紀（江戸後期～明治前半）の漢文学と，漢文学と関連の深い文芸ジャンル，芸術，メディア，思想などに関心を寄せている。テレビで MC やニュース・コメンテーターなどを務める一方，新聞雑誌連載，書評，ラジオ番組出演など，様々なメディアで活躍中。

・平成 26 年～現在，中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会委員。

・平成 27 年～現在，中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会言語能力の向上に関する特別チーム主査代理。



くさかり けんたろう 草刈 健太郎（43）

カンサイ建装工業株式会社代表取締役

・大阪府岸和田市出身。近畿大学法学部卒業。カンサイ建装工業㈱，日之出塗装工業㈱，オープンブックマネジメント㈱，代表取締役。建設業（耐震工事，マンション，ビル大規模修繕工事），塗装業（橋梁，建築物），人材派遣（建設業施工管理者等）を専門とする。

・カンサイ建装工業㈱は昭和 55 年にあらゆる建築物のリニューアルを目指し設立。大企業の隙間を埋めるニッチ産業として，オフィスビル，マンション，病院，学校，ホテル，住宅等あらゆる建築物や構築物のリニューアルを提供している。平成 20 年度から大型マンションの外壁塗装を中心とする大型改修工事への取り組みに注力。また，人材派遣会社オープンブックマネジメントとの連携により，多数の有資格者の保有と肌理細かな技能技術を持って多様なニーズに対応できる施工体制を整備。

・企業経営以外にも，カンボジアの貧困問題をテーマとした教育番組を手掛けている。

加えて，少年院，刑務所出所者への再犯率低下の実現を目指す為，日本財団再犯防止プロジェクト（職親プロジェクト）や社会復帰促進就労支援シンポジウム等の活動にも精力的に参加している。また，おもいやりプロジェクトを設立し，就労者支援や，大阪の大手飲食店にて東北の特産物をいかしてメニューにとり入れるなどの支援を行っている。



すぎもと ひろし
杉本 博司 (68)

現代美術作家

・昭和 23 年東京都生まれ。立教大学経済学部を卒業後、渡米。昭和 49 年よりニューヨーク在住。

・徹底的にコンセプトを練り上げ、8 × 10 インチの大判カメラで撮影する手法を確立。精緻な技術によって表現される作品は、メトロポリタン美術館（ニューヨーク）、テートギャラリー（ロンドン）、ポンピドゥーセンター（パリ）、東京国立近代美術館など世界中の美術館に収蔵。

・平成 20 年建築設計事務所「新素材研究所」設立。IZU PHOTO MUSEUM ほか、建築分野でも活動。平成 11 年～14 年にかけては「ベネッセアートサイト直島」の護王神社再生プロジェクトに携わった。平成 29 年 2 月には展示室の改装を手がける MOA 美術館（熱海）がリニューアルオープン予定。同年秋にはランドスケープ全体を設計した小田原文化財団施設江之浦測候所も開館予定。

・内外の古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、平成 25 年 NY グッゲンハイム美術館にて「三番叟」公演の演出、同年「杉本文楽 曾根崎心中」ヨーロッパ公演（マドリード・ローマ・パリ）では構成・演出・美術・映像を手がける。

・平成 13 年ハッセルブラッド国際写真賞、平成 21 年高松宮殿下記念世界文化賞、平成 22 年紫綬褒章、平成 25 年フランス芸術文化勲章オフィシエ、平成 26 年第一回イサム・ノグチ賞など受賞多数。



せじま かずよ
妹島 和世 (59)

建築家、妹島和世建築設計事務所・SANAA 事務所代表

・昭和 31 年茨城県日立市生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業後、同大学大学院（住居学）修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て、昭和 62 年に妹島和世建築設計事務所を設立。

・平成 7 年には西沢立衛氏と SANAA（サナア, Sejima and Nishizawa and Associates）を設立し、金沢 21 世紀美術館 ROLEX ラーニングセンター、ルーヴル・ランス、グレイスファームズなど数多くの建築を共同設計している。

・「すみだ北斎美術館」（東京都墨田区、平成 28 年度開館）を設計。

・日本建築学会賞、吉岡賞、ショック賞、ベネチア建築ビエンナーレ展示部門金獅子賞（最高賞）、プリツカー賞など、国内外で受賞歴多数。

・現在、日本女子大学、ウィーン応用芸術大学、ミラノ工科大学で客員教授を務める。日本ユネスコ国内委員会委員にも就任。



写真撮影 鈴木愛子 (Aiko Suzuki)

たけうち さわこ
竹内 佐和子(63)

前パリ日本文化会館館長，文部科学省顧問

・昭和 27 年生まれ。工学博士（東京大学），経済学博士，裏千家茶道教授。

・30 代のときに，フランスの応用数理経済研究所で，レビーストローヌと多文化主義について研究を積んだ後，理工系グランゼコールのボンゼシヨセ校の国際ビジネス大学院副所長としてエリート教育の活性化に力を注いだ。

・日本に帰国後，東京大学大学院工学系研究科助教授に就任，工学博士号を取得し，その後東洋大学経済学部教授，京都大学工学研究科客員教授を務める。

・政府関係では，小渕政権のときの経済戦略会議委員として文化政策に関わり，平成 18 年には OECD（経済協力開発機構）事務総長に立候補，外務省参与・大使として文化外交をリードした。国際問題に関心が高く，世界銀行では都市政策，工芸技術への先端技術活用専門家として活躍した。中堅プロフェッショナル向けリーダー教育に関心が高く，カルロスゴーンとともに，社会的価値の創造を目指す起業家育成スクールを開始し，6 年間指導した。

・幼少の頃から日本文化に親しみ，茶道は裏千家，華道は池坊系真流，書道は藤原行成の書が得意。ピアニストとして，コンサートも数回行っている。フランスでは，ジャン＝マルク・ルイサダに師事。

・フランス国家からフランス国家功労勲章シュバリエ，芸術文化勲章シュヴァリエの二つの勲章を授与されている。

・著作には，「ヨーロッパ的発想とは何か，統合 EC を支える多元性と普遍主義」，「21 世紀の社会資本」，「都市デザイン」，「都市政策」などがある。



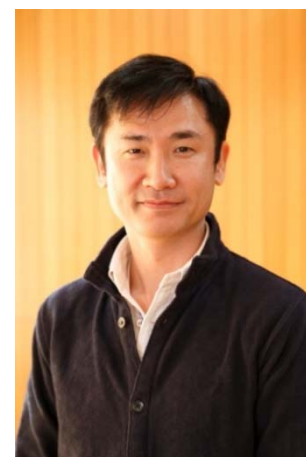
つぼた けんいち
坪田 建一(47)

車いすダンス ジェネシスオブエンターテイメント代表

・昭和 44 年生まれ。大阪府立野崎高等学校卒業。

・平成 9 年，車いすダンス活動団体として「ジェネシスオブエンターテイメント」を創設。

・以後，現在に至るまで，障害者の文化芸術としての「車いすダンス」の普及と人権教育への参画に取り組み，障害者の新たな職業創出を目指して活躍中。



とりい しんご
鳥井 信吾 (63)

サントリーホールディングス株式会社代表取締役副会長

・昭和 28 年兵庫県生まれ。サントリーホールディングス代表取締役副会長（現任），3 代目サントリーマスターブレンダー（現任）。

・昭和 50 年甲南大学理学部卒業，昭和 54 年アメリカ南カリフォルニア大学大学院卒業。

・伊藤忠商事株式会社を経て昭和 58 年サントリー株式会社入社。平成 11 年サントリー常務取締役，平成 13 年サントリー専務取締役，平成 15 年サントリー副社長。平成 22 年公益社団法人サントリー文化財団理事長（現任）。平成 24 年一般社団法人関西経済同友会代表幹事。平成 26 年大阪商工会議所副会頭（現任），ビームサントリー社取締役（現任），平成 27 年ロート製薬社外取締役（現任）。



なかだ つとむ
中田 力 (66)

医師，新潟大学特任教授・名誉教授，

カリフォルニア大学名誉教授

・昭和 25 年東京都生まれ。日本と米国の医師免許，専門医資格を持つ臨床医，脳科学者。日本学術会議 22 期・23 期会員。日本文芸家協会会員。

・昭和 51 年東京大学医学部医学科卒業。昭和 53 年渡米。昭和 57 年～昭和 63 年カリフォルニア大学脳神経学助教授。昭和 63 年～平成 4 年カリフォルニア大学脳神経学准教授。平成 4 年～平成 22 年カリフォルニア大学脳神経学教授。平成 8 年～平成 26 年新潟大学脳研究所教授。

・著書に「脳の方程式 いち・たす・いち」，「穆如清風」，「日本古代史を科学する」など多数。



なかや ひで
中谷 日出

日本放送協会（NHK）解説委員

・神奈川県生まれ。映像アートディレクター，NHK解説委員（芸術・文化、IT 担当），東京芸術大学大学院 美術研究科修了。

・イラストレーター、広告プランニング，広告映像アートディレクターとしてフリーで活動後、平成3年NHKへ第1期キャリア採用で入局後、平成6年にMIT（マサチューセッツ工科大学）派遣その後，NHK スペシャル「人体・脳と心」のアートディレクション，NHK ロゴマークデザイン，長野オリン

ピック国際発信公式映像 映像監督，ドラマ「DREAM TV 200X」監督などに携わる。平成11年6月NHK解説委員（芸術文化、デジタル関連担当）に就任。平成12年3月からデジタル・スタジアムナビゲーターを務め現在に至る。

・Gマーク（グッドデザイン賞）の審査委員，アジアデジタルアート大賞審査委員，北九州デジタルクリエイターコンテスト審査委員長，神戸ビエンナーレ審査委員などにも取り組む。また，アートとテクノロジーの融合を目的としたWeb TV「木曜新美術館」館長も務める。



にし の よしあき
西野 嘉章（64）

東京大学総合研究博物館長

・昭和27年生まれ。昭和58年東京大学人文科学研究科博士課程中退。博士（文学）

・現在，東京大学総合研究博物館館長，インターメディアテク館長，教授（博物館工学，美術史学）

・地方自治体における文化施設リニューアル事業のあり方の研究や，実験展示等を通じて得られた研究成果を，展示パッケージ・産学連携・民間主導企業メセナ・ボランティア活動などを複合しつつ，社会還元する手法について，国内外ミュージアム施設との連携の中で具体的に実践試行する研究を行っている。現在，産学連携事業「モバイルミュージアム・プロジェクト」，国際学術連携事業「アジア圏学術標本ネットワーク構想」として具現化しつつある。



の だ ひでき
野田 秀樹 (60)

俳優, 演出家

- ・昭和 30 年長崎県生まれ。東京芸術劇場芸術監督, 多摩美術大学教授。
- ・東京大学在学中, 劇団夢の遊眠社を結成する。エディンバラ国際芸術祭, ニューヨーク国際芸術祭など海外公演にも参加。昭和 62 年「野獣降臨」(のけものきたりて) で第 27 回岸田国土戯曲賞を受賞。
- ・平成 4 年劇団解散後, 文化庁芸術家在外研修制度の留学生として 1 年間ロンドンに留学。平成 5 年に演劇企画制作会社「NODA・MAP」を設立。ワークショップを基盤に, 劇団の枠にとらわれず俳優を集めて上演するプロデュース公演の先駆けとなる。約 6 万人を動員する大規模な公演から, 少人数で上演する番外公演など, 幅広いスケールで多岐にわたり積極的に創作活動に取り組んでいる。
- ・平成 13 年, 故中村勘三郎(現・十八代目中村勘三郎) と組み, 新作歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」を歌舞伎座で公演。以降, 「野田版 鼠(ねずみ)小僧」, 「野田版 愛陀姫」などの新作歌舞伎を発表し, 話題を呼ぶ。
- ・「言葉遊び」と「リメイク」を表現に用い, 使い古された言葉や古典と呼ばれる作品に新しい命を吹き込み, 独創的でスペクタクルな舞台を作り上げている。独創的な戯曲を体現する身体性にも優れた俳優陣との創作活動を行い, 日本のみならず, ロンドンを始め, ニューヨーク, フランス, ドイツ, イスラエル, 韓国, シンガポール, 香港, タイなど海外でも積極的に作品を創作し上演している。



のむら まん
野村 萬 (86)

能楽師 (狂言和泉流) ,

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長

・昭和5年東京生まれ。本名、野村太良(たろう)。故六世万蔵(人間国宝)の長男。父に師事。4歳にて「靱猿(うつぼざる)」の子猿の役で初舞台を踏む。昭和25年、東京音楽学校本科卒業。同年、「釣狐(つりぎつね)」を被き、四世万之丞を襲名。昭和27年、東京音楽学校研究科卒業。

・昭和32年、パリ国際演劇祭渡欧能楽団の一員として海外公演に初参加。以来、カナダ・米国・中南米・欧州・中国・韓国など、各国各地域における公演は優に十指を越え、狂言を海外に広く紹介、普及に努めた。平成5年七世万蔵を襲名、翌年、紫綬褒章を受章。

平成9年、重要無形文化財保持者各個指定(人間国宝)の認定を受ける。平成12年、七世万蔵改め、初世萬を名乗る。翌年、日本芸術院会員を拝命する。平成17年、東京都名誉都民の称号を受ける。平成20年、文化功労者の顕彰を受ける。

・早くから数々の古典の大曲を演じる一方、TVドラマ「おしん」や「新平家物語」、「飛ぶが如く」への出演、新作狂言や新劇への出演・演出等などにも取り組む。また、各地の小学校やホールでの公演も重ね、狂言の一般的普及に貢献。現在も多くの舞台上で活躍する傍ら、後進の育成に努めている。さらに、各芸術・芸能団体の役員を多年にわたり務め、広く我が国芸能文化の振興発展に尽力。

・日本芸術院賞(昭和62年)、芸術祭優秀賞(昭和44年、昭和48年、昭和57年)、観世寿夫記念法政大学能楽賞(昭和55年)、文化庁芸術作品賞(平成4年)、紫綬褒章(平成6年)、文化功労者(平成20年)多数受賞。

・公益社団法人能楽協会理事長(平成19年～)、国民文化祭実行委員会会員(平成10年～)、公益社団法人新国立劇場運営財団理事(平成11年～)、文化芸術推進フォーラム議長(平成14年～)、東京芸術文化評議会評議員(平成19年～)、日本芸術文化振興会国立劇場等大規模改修懇談会委員(平成26年～)、財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問(平成26年～)、文部科学省「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」顧問(平成27年～)、日本芸術院第三部長(平成28年～)多数歴任。



はっとり しげひこ
服部 重彦 (74)

京都商工会議所副会頭，株式会社島津製作所相談役

- ・昭和 39 年，株式会社島津製作所入社。平成元年，米国現地法人 SSI（シマツ サイエнтиフィック インストルメンツ インク社）社長。
- ・平成 5 年取締役（米国駐在），平成 9 年常務取締役，平成 15 年代表取締役社長。
- ・平成 21 年代表取締役会長，平成 27 年相談役（現任）。



ほ ろ
BORO (62)

シンガーソングライター

- ・昭和 29 年兵庫県生まれ。シンガーソングライター，作詞，作曲家。
- ・昭和 54 年内田裕也のプロデュースによる「都会千夜一夜」でデビュー。8 月に発表した 2 枚目のシングル「大阪で生まれた女」が大ヒット。
- ・沢田研二，松田優作，根津甚八，梓みちよ，近藤真彦，森進一，八代亜紀など多くのアーティストに楽曲を提供し，音楽プロデューサーとしても活躍している。
- ・平成 2 年からは，活動拠点を大阪に戻す。平成 6 年インディーズレーベル「BBB レコード」を設立。
- ・筋ジストロフィーの少女・綾佳ちゃんとの出会い，平成 5 年「AYAKA 基金」を設立。筋ジストロフィーに対する理解や原因究明の更なる推進を求めて，平成 25 年，10 回目の募金を安倍総理大臣に届けた。
- ・平成 27 年 9 月 16 日，トリビュートアルバム「大阪で生まれた歌」発売。



まつおか せいごう
松岡 正剛 (72)

編集工学者, 編集工学研究所所長, 日本文化研究者

・昭和19年京都府生まれ。オブジェマガジン「遊」編集長, 東京大学客員教授, 帝塚山学院大学教授などを経て, 現在, 編集工学研究所所長, イシス編集学校校長。

- ・日本文化研究の第一人者としては, 「日本という方法」を提唱。
- ・「クール・ジャパン官民有識者会議」座長代理, 平城遷都1300年祭「日本と東アジアの未来を考える委員会」幹事長なども歴任。
- ・主な著作に「知の編集工学」「多読術」「日本という方法」「日本数寄」「日本流」「連載—方法日本」「にほんとニッポン」「ルナティックス」「フラジャイル」「千夜千冊全集」など。編著に「情報の歴史」「全宇宙誌」ほか。
- ・インターネット上で壮大なブックナビゲーション「千夜千冊」を展開中。



写真撮影 十文字美信 (Bishin Jumonji)

みやじま たつお
宮島 達男 (59)

現代美術家,

京都造形芸術大学客員教授, 東北芸術工科大学客員教授

- ・昭和32年東京都江戸川区出身, 茨城県守谷市在住。
- ・東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。
- ・アジアン・カルチュラル・カウンシル (ACC) の招きでニューヨーク滞在, ドイツ文化省芸術家留学基金 (DAAD) の召喚でベルリンに滞在, カルティエ現代美術財団の招きでパリ滞在。
- ・現代美術家として活躍するとともに, 平成28年3月まで東北芸術工科大学と京都造形芸術大学において副学長を努める。
- ・発光ダイオード (LED) を使用したデジタル数字の作品で国際的に注目を集める。以来, 国内外で数多くの展覧会を開催。平成5年ジュネーブ大学コンペティション優勝 (スイス)。平成10年, 第5回日本現代芸術振興賞, ロンドン・インスティテュート名誉博士。
- ・文化庁メディア芸術祭審査委員, 現代美術の海外発信に関する検討会 (平成26年芸術文化課) なども歴任。



写真撮影 表恒匡 (Nobutada Omote)

みやにし たつや
宮西 達也 (59)

絵本作家

・昭和 31 年静岡県生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業後、人形美術、グラフィックデザイナーを経て、絵本作家に。絵本以外にも、童話や紙芝居、プラネタリウム、イラスト、エッセイなど幅広いジャンルで活躍。

・『きょうはなんてうんがいいんだろう』で講談社出版文化賞・絵本賞受賞。『ふしぎなキャンディーやさん』で日本絵本賞・読者賞受賞。『帰ってきたおとうさんはウルトラマン』、『シニガミさん』、『ちゅーちゅー』で剣淵絵本の里大賞受賞。その他多数の作品がある。

・『にゃーご』は小学校 2 年生の国語の教科書に掲載。『おまえうまそうだな』は、小学校低学年の部読書感想画中央コンクール指定図書、剣淵絵本の里大賞受賞し、平成 22 年、平成 27 年にはアニメーションで映画化された。

・平成 29 年にはティラノシリーズ映画化第三弾が公開予定。



やぶた ゆたか
藪田 貫 (68)

兵庫県立歴史博物館館長

・昭和 23 年大阪府生まれの歴史学者。専門は日本近世史、女性史、日本学で、著書に「国訴と百姓一揆の研究」、「日本近世史の可能性」、「女性史としての近世」「武士の町大坂」(中公新書)などがある。

・大阪大学文学部卒業後、同大学院博士課程、同文学部助手を経て、昭和 54 年に京都橘女子大学、平成 2 年に関西大学文学部に転じ、同 27 年退職とともに名誉教授就任。この間、関西大学博物館長、関西大学大阪都市遺産研究センター長などを務め、CG を活用した「芝居町道頓堀の復元的研究」などを進めた。平成 26 年 4 月から兵庫県立歴史博物館館長。文化庁「史跡等における歴史的建造物等の復元の取り扱いに関する専門委員会委員」、「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査検討委員会委員(兵庫県・徳島県)などを務める。



やまざき まさかず
山崎 正和 (82)

劇作家, 評論家

- ・昭和9年京都府生まれ。京都大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程美学美術史学専攻中退。昭和39年～昭和40年イェール大学演劇学科留学。
- ・昭和44年関西大学文学部助教授就任, 昭和49年教授に昇任。
- ・昭和51年～平成7年大阪大学文学部教授。東亜大学学長, 大阪大学名誉教授, LCA 大学院大学学長等を歴任。平成5年「演技する精神」で大阪大学博士(文学)取得。
- ・昭和38年足利義満と世阿弥を光と影の関係として捉えた「世阿弥」で第9回岸田国土戯曲賞受賞。昭和47年近代日本文明論「劇的なる日本人」で芸術選奨新人賞, 昭和48年「鷗外戦う家長」で読売文学賞など多数受賞。
- ・平成11年紫綬褒章, 平成19年文化功労者, 平成23年日本芸術院賞・恩賜賞, 日本芸術院会員就任。

